

市議会議会局

その他事業

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	1	項	1	目	1	説明資料	5	項目番号	2
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	---	------	---

事務事業名	議会活動経費	所管部課名	市議会議会局
			議事課、総務調査課

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	日本国憲法第93条、地方自治法第89条、横須賀市議会基本条例						
事業目的	市議会は二元代表制の一翼を担う存在として、市民の負託に応える責務がある。そのため、市長等執行機関への監視及び評価機能の充実に努めることはもとより、自由闊達な討議により、市政の課題の的確な把握に努め、他の先進都市の視察などを通して、積極的な政策立案・政策提言を行える政策形成能力の向上を図る。					分野別計画	
具体的な事業内容	議会活動にかかる経費 ・委員会活動(視察等) ・各種議長会への参加 ・議員研修会の開催 ・市議会だよりの発行 ・広報広聴会の開催 ・議員の調査研究その他の活動に必要な経費の交付(政務活動費の交付)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	70,786	73,856	74,734	84,772	千円
b 人件費	121,003	126,465	125,940	126,735	千円
正規職員	14.5	15.0	15.0	15.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	191,789	200,321	200,674	211,507	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 3 年度の活動実績	令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

(1) 4常任委員会による他都市調査(0か所) (2) 各種議長会等の会議参加(32会議) (3) 議員研修会の開催(2回) (4) 市議会だよりの発行 発行部数(回数): 377, 000部(4回) (5) 議会報告会の開催(1か所) (6) 議員の政務調査活動	(1) 4常任委員会による他都市調査(12か所) (2) 各種議長会等の会議参加(47会議) (3) 議員研修会の開催(2回) (4) 市議会だよりの発行 発行部数(回数): 357, 000部(4回) (5) 広報広聴会の開催(1か所) (6) 議員の政務調査活動	(1) 4常任委員会による他都市調査(12か所) (2) 特別委員会の設置 (議会基本条例検証、地域防災計画検証) (3) 各種議長会等の会議参加(28会議) (4) 議員研修会の開催(2回) (5) ジェンダー平等に関する合同研修会の開催(1回) (6) 市議会だよりの発行 発行部数(回数): 341, 500部(4回) (7) 市議会ガイドブックの発行 発行部数: 10, 000部 (8) 議員の政務調査活動
--	---	--

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	＜事業費＞ 令和5年度に増（878千円）となったのは、主に市議会議員改選年度に改訂・発行する市議会ガイドブック作成費用（2,750千円）のため
---	--

今後の事業 の方向性	横須賀市議会実行計画～未来への羅針盤2027～に基づき議会からの政策立案と議会改革を推進し、市政の課題解決に寄与していく。 また、「開かれた議会」「市民に親しまれる身近な議会」を目指し、議会に対する市民の関心がより高まるよう、効果的な取り組みを進める。
-----------------------	---

令和 6 年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	1	項	1	目	1	説明資料	6	項目番号	3
-------	----	------	---	---	---	---	---	---	------	---	------	---

事務事業名	市議会ICT化事業費	所管部課名	市議会議会局
			議事課

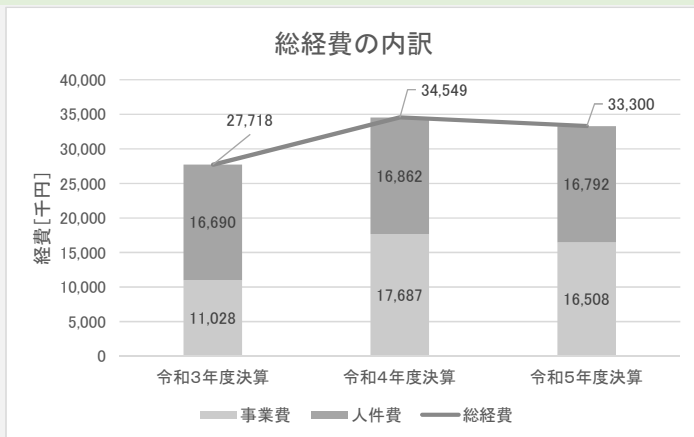
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	横須賀市議会基本条例						
事業目的	・議会の意思決定過程の透明性を担保するため、本会議・委員会等の資料に市民が容易にアクセスできるようにする。・BCPの観点から、災害や感染症の蔓延があってもできるかぎり議会活動を止めないためにデジタル技術を活用する。・議員と議会局との間の情報伝達を効率化することで、生み出される時間を生産的な業務へ振り向ける。					分野別計画	
具体的な事業内容	市議会のICT化に係る経費 ・本会議及び委員会の生中継、録画配信 ・会議録検索システムの運用 ・パーソナルコンピュータ及び周辺機器の一式借上げ ・市議会LANグループウェアの管理 ・ペーパーレス会議の運用						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	11,028	17,687	16,508	19,945	千円
b 人件費	16,690	16,862	16,792	16,898	千円
正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	27,718	34,549	33,300	36,843	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績	令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
------------	------------	------------

(1) 本会議及び委員会の生中継、録画配信(再生回数: 本会議生中継17,398回、本会議録画4,889回、委員会生中継28,807回、委員会録画10,420回) (2) 会議録検索システムの運用 (3) パーソナルコンピュータ及び周辺機器の一式借り上げ(PC55台、サーバ・Wi-Fi機器等) (4) 市議会LANグループウェア(サイボウズガルーン。令和2年6月からLINE WORKSに変更)の管理 (5) ペーパーレス会議システムの運用(令和3年度末をもって廃止し、令和4年度からクラウドストレージによる運用に変更)	(1) 本会議及び委員会の生中継、録画配信(再生回数: 本会議生中継19,667回、本会議録画3,649回、委員会生中継45,043回、委員会録画8,727回) (2) 会議録検索システムの運用 (3) パーソナルコンピュータ及び周辺機器の一式借り上げ(PC55台、Wi-Fi機器等) (4) 市議会LANグループウェア(LINE WORKS)の管理 (5) クラウドストレージによるペーパーレス会議の運用及び市議会ホームページでの議会資料公開	(1) 本会議及び委員会の生中継、録画配信(再生回数: 本会議生中継37,470回、本会議録画6,240回、委員会生中継49,500回、委員会録画15,490回) (2) 会議録検索システムの運用 (3) パーソナルコンピュータ及び周辺機器の一式借り上げ(PC55台、Wi-Fi機器等) (4) 市議会LANグループウェア(LINE WORKS)の管理 (5) クラウドストレージによるペーパーレス会議の運用及び市議会ホームページでの議会資料公開 (6) 議会登退庁表示システムの導入、運用
--	---	---

年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	＜事業費＞ 令和5年度の減(△1,179千円)の理由は、当該年度に議会登退庁表示システムの機器購入及びシステム導入費用と令和4年度に実施した市議会LANシステム更新、初期導入経費との差により減となった。
---	---

今後の事業 の方向性	より市民にとって視聴しやすい議会中継とその安定的な運用の実現に向けて、議場及び委員会室のシステムの在り方を検討していく。
---------------	--

令和6年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	1	項	1	目	1	説明資料	7	項目番号	4
事務事業名	事務費等								所管部課名	市議会議会局		
										総務調査課		

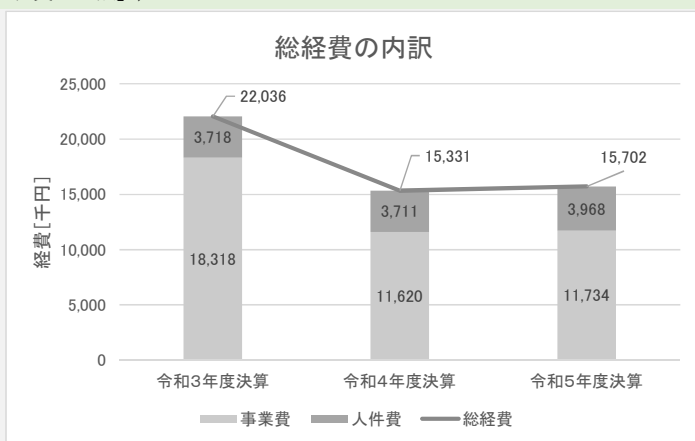
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	内部管理業務のうち、施設の維持管理業務以外の業務						
根拠法令							
事業目的	市議会の円滑な運営を図るための内部管理経費					分野別計画	
具体的な事業内容	市議会の事務に関する経費 ・会議録等作成 ・その他、市議会に関する事務						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 5 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	18,318	11,620	11,734	20,020	千円
b 人件費	3,718	3,711	3,968	3,988	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	3,718	3,711	3,968	3,988	千円
総経費（a + b）	22,036	15,331	15,702	24,008	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和3年度の活動実績		令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績
(1)本会議・委員会会議録作成 (2)議会日程周知ポスター作成 (各650部、4回) (3)議会図書室運営 (4)他都市行政視察受入(1団体) (5)その他議会局にかかわる事務		(1)本会議・委員会会議録作成 (2)議会日程周知ポスター作成 (各650部、4回) (3)議会図書室運営 (4)他都市行政視察受入(55団体) (5)その他議会局にかかわる事務	(1)本会議・委員会会議録作成 (2)議会日程周知ポスター作成 (各650部、4回) (3)議会図書室運営 (4)他都市行政視察受入(113団体) (5)改選にかかる各種事務 ※令和5年度のみ (6)その他議会局にかかわる事務
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	＜事業費＞ 令和4年度に大幅減(▲6,698千円)となったのは、令和3年度に比して、コロナ対策等による本会議・委員会の会議数・会議時間が減少したことにより、本会議・委員会会議録等作成業務委託料が減少したため、その特殊要因を除くと、ほぼ同水準で推移している。 ＜人件費＞ 令和5年度に増(257千円)となったのは、フルタイム会計年度任用職員の給料表改訂及びパートタイム会計年度任用職員の時給単価上昇によるものである。		
今後の事業 の方向性	今後も継続して実施すべきと考えるが、コスト削減を意識しながら、より効率的な方法を検討する。		